

ブラジルへの出発を前に、笑顔を見せる
高校生や大学生ら＝23日、那覇空港



生徒ら「懸け橋に」

県交流事業、ブラジル出発

ホームステイを通して、
海外の県系子弟と沖縄の
若者が交流し、次世代の
ウチナーネツ
トワークを担
う人材を育成
しよう、県



内の大学生と高校生6人は
23日、那覇空港からブラジ
ルに旅立った。
県の2012年度海邦養
秀ネットワーク構築事業。

ブラジル沖縄県人会が受け
入れる。学生らは主にサン
パウロに滞在する。滞在中、
第1回世界若者ウチ
ナーンチュ大会に参加する
ほか、県人会とも交流
し、現地のウチナーンチュ
たちと親睦を深める。

那覇空港で開いた出発
式で、コザ高校3年の名嘉
真美鈴さん(18)は「ブラジ
ルでたくさん話を聞いて、
私たちの世代も積極
的にブラジルのウチナーン
チュとつながり、懸け橋に
なりたい」と笑顔を見せた。